

ダイワコーポ

千葉に最大級施設

サブリースを展開

ダイワコーポレーション（本社・東京、曾根和光社長）は1日、千葉県八千代市に新たな物流拠点を開設した。延べ床面を

積15万平方メートルを超える同社最大規模の施設で、交

通利便性の良さなどを強用する。

「千葉八千代

立地。東関東自動車道千葉北インターチェンジから約10分。国道262号や16号といった幹線道路にも移動しやすく、首都圏をはじめとする広域配送、エリア配送のどちらにも対応できる。

各階のトラックパースから効率良く安全に移動できるよう、上り・下りのダブルランプウエーを採用。敷地内に最大37台分のトラック待機場も設けた。倉庫内の各区分には、空気を循環させな

また、東葉高速鉄道東葉高速線の八千代中央駅から約1・9分と市街地に近く、働く人の集めやすさも特長。駅から直行バスも運行する。敷地には乗用車389台、自転車254台の大規模駐車場・駐輪場もある。

ダイワコーポにとって新拠点は31拠点目。所管面積は100万平方メートル以上となった。近年、首都圏を中心に物流拠点の整備を進め、来年5月には川崎市に温度管理機能を持つ自社保有施設「川崎営業所」の稼働も計画し

から庫内温度を均等に保てる。千葉八千代営業所では現在、利用に関心のある企業に内覧見学会を随時開いている。

（小林 孝博）



千葉県内では11拠点目となる「千葉八千代営業所」

代V」を1棟賃

た「GLP八千

営業所」の稼働も計画し